

**留学先国名** : デンマーク

**留学先学校名** : コペンハーゲン大学

**留学期間** : 平成 27 年 8 月 24 日 ~ 平成 28 年 2 月 1 日

留学をすることで自分が得たと思うことは、主に 3 点あります。

1 点目は価値観を再構築する機会です。デンマークのコペンハーゲン大学という大学に通っていましたが、幸福度が世界で 1 位ということでも有名なデンマークでは、「人それぞれが違って当たり前だしそれでいい」という考えが本当に根付いているのだということを実感しました。日本では大学に通っているのは 20 歳前後の若者ばかりですが、コペンハーゲン大学には当たり前のように 30,40 歳くらいの人も学生として学んでいます。日本では異質として見られるでしょうが、それが当たり前のもとして捉えられているデンマークに長期間住むという経験を通して、「自分は人と違っていい」ということを重要な価値観として自分の中に構築できました。それによって、様々な意思決定を「周りがやっているからやる」という基準から、「自分がやりたいからやる」という基準へウェイトが移ったように思います。

2 点目は自分のために使うことができる時間です。日本で同じ環境に居続けると、周りの人との付き合いややらなければならないことに追われてしまうことが多々あります。例えば、アルバイトをしている学生もいるでしょうし、サークル活動に取り組んでいる学生もいるでしょう。しかし、そうした学生が真に自分のためだけに時間を使っているかと自分に問うたときに、「使っている」と断言できる人はそれほど多いとは思えません。周りの人間関係や取り組んでいることは、それ自体からも得られることはあるでしょうが、逆に言うとそうしたことは新しく何かに取り組もうとするときの障壁にもなりうるということを実感しておく必要があります。そうした人間関係・事柄などを一旦保留し、身ひとつで海外に飛び出すという経験は、自分を再認識し自分のために時間を使うということに集中できる環境を得られることに繋がります。

3 点目は自主性を重んじた教育の重要性を知る機会です。私は政治学だけでなく、教育にも強い関心を持っていたこともあって、コペンハーゲンの小中学校に見学に行き、その一ヶ月後には授業を持たせていただくという経験をさせていただきました。コペンハーゲンの小中学校は授業をただ講義形式ですというだけでなく非常に参加型の授業が多く、設備としても様々なことを校内で経験できるような設計がされています。体育館があって種々のスポーツに取り組めることはもちろん、絵を描いたり、工作をしたり、ということが授業外の放課後教育として行われていて、子どもたちは能動的にそうした活動に取り組んでいました。現在日本でも「生涯学習」などの言葉が普及しつつありますが、いわゆる科目教育のみならず、多様な経験から子どもたちは学ぶことができます。そうした学びの重要性を認識しているデンマークでは、子どもたちが楽しんで自主的に学べる環境が当たり前のようにあります。日本と一見対極にあるそうした教育も、教育大国デンマークでは普及しているのだということを知ることにも繋がり、自分の持っている教育観を見直すき

っかけを得られました。

そうした経験を今後どのように活かしていくかという、家庭教育の改善に取り組む NPO 法人を立ち上げ、学校や保育園、幼稚園などで保護者を対象にワークショップを行っていくことにしました。日本では「こうあるべき」、「このように振る舞うべき」などといった価値観によって、人が自分の考えに忠実に生きるということが難しい社会になってしまっているように思います。そうした価値観を改めて問い直し、「子どもたちに何を大切にして人生を生きて欲しいのか」、「そのために自分たちはどのように支援できる」といったことを考え、意見交換できる環境整備に取り組みます。その結果子どもたちが健やかに、いい意味でもっと自分勝手に生きられる社会の実現に寄与できればと考えています。

何か私が留学をする人へアドバイスができるとすれば、「不確実性を進んで受容することの大切さ」をお伝えしたいと思います。「何か分からないけどワクワクするからやってみたい」といった想いに忠実に、自分が今まで取り組んだことのないこと、やろうと考えたこともないことに取り組んでいけばいいのではないかと思います。「何かよく分からないからやりたくない」というマインドセットになってしまうと、新しく自分の可能性を広げていくことができません。留学中で環境も違うからこそ、今までやってきてなかったことに取り組んでいただきたいです。それはあらかじめどのようなことをするのか、その結果何が得られるのかを予想できるものではないかもしれませんが、そうした不確実性も進んで受容し、今までの自分がチャレンジしなかったことに挑戦してみる、ということを意識的にやっていただければ、自然と身になる経験ができるのではないかと思います。留学前にあらかじめ立てた計画に縛られる必要は全くありません。それよりも取り組んだことを丁寧に振り返り、反省していくという姿勢を大切にしてください。きっとそれによって、みなさんの考え方やみなさんという人間の血となり肉となることだろうと思います。